

生理用品などのニオイを吸収する、竹炭と竹酢液を効果的に利用した四層構造の抗菌消臭吸収シート

特許権者：田山 吉基、住吉 妙子

ライセンス情報番号：L2001012852

本発明は、臭いを無くすための、生理用ナプキン、おりもの用シート、使い捨て紙オムツ、失禁者使い捨て紙オムツなどの消臭吸収物品に関するものである。消臭吸収物品の組合せの配置順序は、液透過性の表面シートは、一層目、二層目として竹酢液含有の液半透過半保持性の吸収物を配置し、三層目には竹酢液を含有した竹炭粒、竹炭粉を備えた吸収物、四層目には、液不透過性防漏シートからなることを特徴とする消臭吸収物品である。竹酢液を含有した液半透過半保持の吸収物の竹酢液の濃度は、竹酢液を200倍以下に希釈し、27 以下で乾燥した消臭吸収物品であり、竹酢液を含有した竹炭粒、竹炭粉を備えた吸収物は、竹を400 位で炭化しゆっくり冷やした竹炭(黒炭)(微酸性)を、500倍以上に希釈した竹酢液中に浸漬し、取り出し、水切りをしてふき取り、50メッシュ~200メッシュ程度の範囲に砕き、常温で乾燥したものである。竹酢液を含有させた竹炭粒、竹炭粉の吸収物消臭吸収物品(総重量)の重量に対して、10~30重量%を占めていることを特徴とする消臭吸収物品である。地球環境にやさしい、エコロジな材料の竹炭、竹酢液を使用することによって安価で、しかも、竹炭、竹酢液の特性をうまく活用することで排泄物、体液、等から生じる硫黄性臭気、酸性臭気、塩気性臭気等のさまざまな臭気を完全に解消し、装着者には、快適な使用感を与えることができる。

patent review

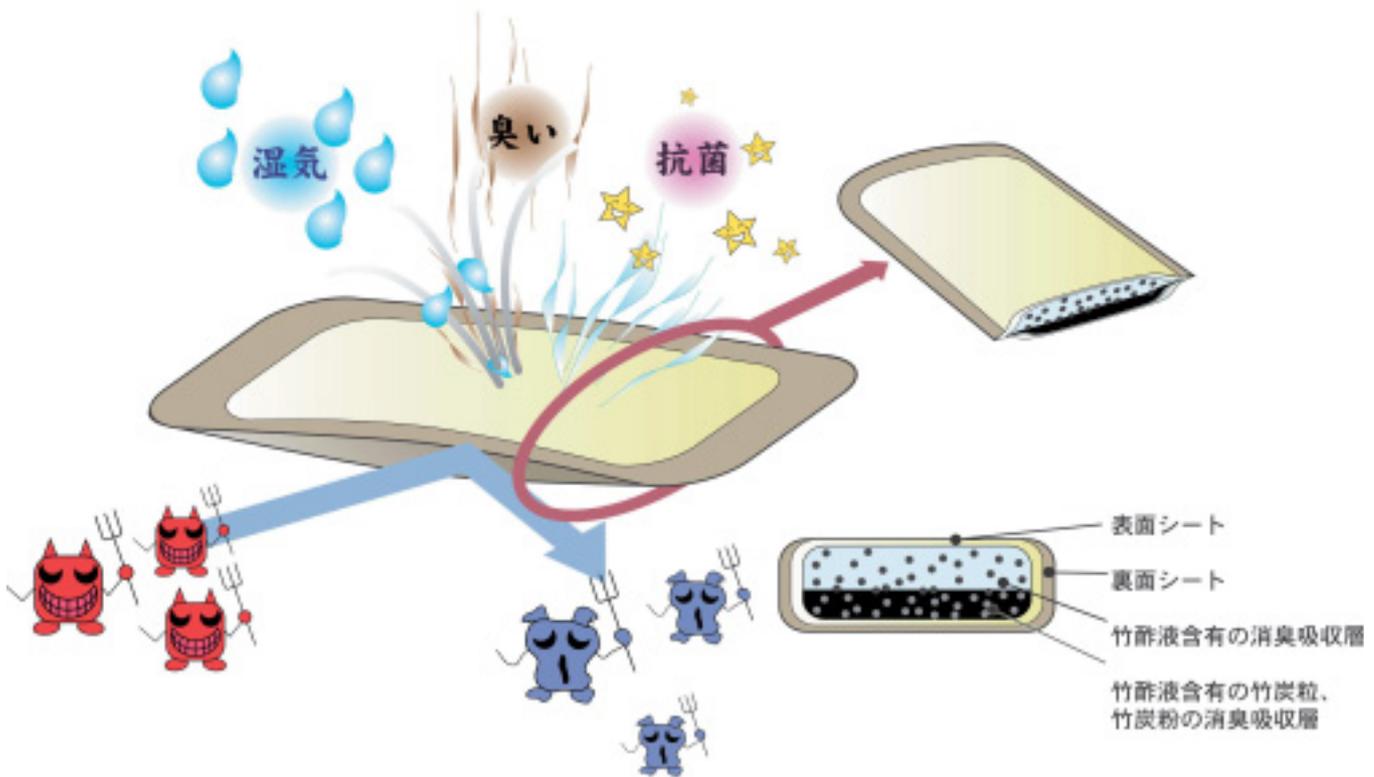
用語解説

- バイオリアクタ**
固定化酵素や微生物を触媒として、物質の分解や合成などを行う装置またはシステム
- ヘミセルローズ**
植物繊維をアルカリで抽出してえられる複雑な多糖類。セルロースとともに植物細胞壁を構成する成分
- リグニン**
材木中のセルロースに伴って存在する、高分子ヒドロキシフェニルプロパンを基本単位とする重合物
- BET法**
粉末の比表面積(粉末の単位質量または単位容量あたりの表面積のこと)の測定法のひとつ

ユーザー業界	活用アイデア
 繊維・紙  生活・文化	竹炭と竹酢液を使った消臭シート 竹炭と竹酢液の消臭・吸着性能による、いやなニオイの発生が少ない抗菌消臭吸収シート マスク 風邪の予防、花粉症の予防のマスク ベット用の服 皮膚病の予防、悪臭の防止のベット用の服 壁クロス マイナスイオン発生、ホルムアルデヒド吸着・分解、消臭、調湿のある壁クロス

market potential

本発明は、竹炭と竹酢液を効果的に配置した抗菌消臭吸収シートに関するものである。従来、生理用品などの吸収性物品を使用した後に発生するカユミ、カブレ、悪臭は、使用者にとって不快で、周囲へ迷惑を掛けるものとして問題であった。また、吸収物品の構造として、悪臭を吸収したり、消臭することをうたった商品はあるものの、十分な効果は得られなかった。本発明の抗菌消臭吸収シートは、竹炭と竹酢液を効果的に配設した構造となっているので、消臭、調湿、通気、吸着、抗菌、浄化、免疫作用等によりムレ、カブレ、カユミ止め、マイナスイオン発生、ホルムアルデヒドを吸着、分解、抗菌、消臭吸収がエンドレスに作用する。また、竹炭やその製造工程で得られる竹酢液は、本来、自然にあるものであり、生産することで環境に負荷をかけたり、自然環境を損なうものではなく、人体への影響の恐れもない。従って、人と環境に優しい消臭吸収物品とも言える。



竹炭と竹酢液の層が抗菌と消臭を実現

特 許 情 報

- ・権利存続期間：16年8ヶ月(平33.9.18満了)
- ・実施段階：試作段階
- ・技術導入時の技術指導の有無：有り
- ・ノウハウ提供：有り
- ・ライセンス制約条件：許諾のみ

出願番号：特願2001-282656

出願日/平13.9.18

公開番号：特開2003-088546

公開日/平15.3.25

特許番号：特許3424042

登録日/平15.5.2

特許流通データベース情報

- ・タイトル：竹炭・竹酢液を併用した4層構造の消臭システムにより、ニオイの基となるすべて...
 - ・ライセンス番号：L2001012852
- <http://www.ryutu.ncipi.go.jp/db/index.html>
からご覧になれます。

参 考 情 報

- ・特許流通アドバイザーによる推薦
- ・関連特許：なし

皆様からのお問合せを、お待ちしております。

この特許の問合せ先

田山 吉基

〒760-0073

香川県高松市栗林町3-11-23大邦マンション301

TEL:090-2823-7014

もしくはお近くの特許流通アドバイザー
(P179～182をご覧ください)にご連絡下さい。

